⑲日本国特許庁　　⑪特許出願公開

公開特許公報　　昭53—69341

⑤1Int. Cl.²	識別記号	⑤2日本分類	庁内整理番号	⑬公開　昭和53年(1978)6月20日
B 62 L 3/02 //		81 E 02	6475—36	
F 16 C 1/10		53 A 111	6461—31	発明の数　1
				審査請求　未請求

（全 2 頁）

⑤4ブレーキワイヤ連結器

⑳特　　願　昭51—143073
㉒出　　願　昭51(1976)11月29日
㉑発　明　者　黒沢文男
福島県伊達郡飯野町大字飯野字志保井31
⑦1出　願　人　黒沢チエ
福島県伊達郡飯野町大字飯野字志保井31

明　細　書

1. 発明の名称

ブレーキワイヤ連結器

2. 特許請求の範囲

ワイヤー連結部1と案内筒2からできており、左・右のブレーキレバーの片方を引くだけで、前輪、後輪に同時にブレーキがかかる動作をさせる自転車用ブレーキワイヤ連結器。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、自転車の左・右のブレーキレバーの片方を引くだけで前輪、後輪のブレーキが同時にかかるようにするためのブレーキワイヤ連結器に関するものである。

従来、ブレーキワイヤを使用した自転車で、片方のブレーキレバーを引くだけで前輪、後輪に同時に作用する自転車がなかった。そのため、急ブレーキをかけると車体が振れたり、転倒したり、荷物を持って運転している時、勝手によっては、転倒しやすく、運転が不自由なこともあった。

この発明は、一方のブレーキレバーを引くだけで前輪、後輪の両方のブレーキが同時に作用させ、安全で使用しやすいブレーキにするためのブレーキワイヤ連結器の提供を目的とするものである。

第1図のように、左ブレーキレバー3、右ブレーキレバー4につながる左ブレーキワイヤ5、右ブレーキワイヤ6と連結部1で連結し、また、前輪ブレーキ7と後輪ブレーキ8に通なる前ブレーキワイヤ9と後ブレーキワイヤ10を連結部1で連結する。

その連結部1を案内筒2にセットし、上下に動作するように構成されたものである。

今、ブレーキワイヤの片方を引くと、第2図のように、連結部が上昇し、前ブレーキ7、後ブレーキ8が同時にかかる。

この発明によれば、片方のブレーキレバーを引くだけで、両輪のブレーキが同時に効くよう

になるので、急ブレーキによるバランスのくずれや転倒の防止に役立ち、制動距離も短くなる。また、握り手に関係なく操作が簡単であり、交通安全に役立つものである。

4. 図面の簡単な説明

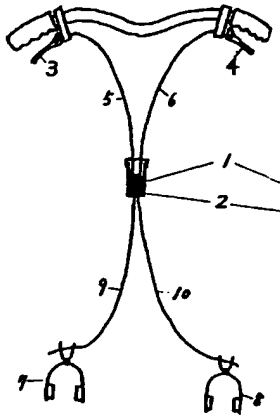
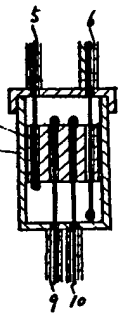
第1図は、ブレーキレバーを引いてない状態、第2図は、片方だけブレーキレバーを引いた状態を示す断面図である。

1：連結部　2：案内筒　3：右ブレーキレバー　4：左ブレーキレバー　5：右ブレーキワイヤ　6：左ブレーキワイヤ　7：前輪ブレーキ　8：後輪ブレーキ　9：前ブレーキワイヤ　10：後ブレーキワイヤ

特許出願人　島　沢　テ　ル

図　面

第1図



第2図